

開催の
ご案内

施設園芸新技術セミナー ・ 機器資材展 in 宮城

本セミナーは、「施設園芸・植物工場における先進技術と東北（宮城県）の地域農業を支える施設園芸」をメインテーマに、2部構成として2日間に亘り開催いたします。

第1部では「施設園芸における新技術と今後の展開方向～寒冷・冷涼地域で活用したい技術～」をテーマに、農林水産省が施設園芸の構造改革の大きな柱と位置づけてスタートした、次世代施設園芸事業の今後の展開や東北地域における次世代施設園芸実施地区である宮城県拠点の取組内容、植物工場等の先進技術関係、寒冷・冷涼地域で開発された融雪装置の先進技術、夏秋イチゴ生産の栽培管理技術やイチゴ生産における作業自動化・ロボット技術の動向等をテーマとして、主として学識経験者や行政の方にご講演をして頂く予定です。

第2部では「東北地方（宮城県）の地域農業を支える施設園芸」をテーマに、東日本大震災からの施設園芸の復興と発展に向けた優良取組み事例や主要な施設園芸作物について、生産者に直接役立つ優良経営事例や生産現場への新技術の導入事例、現場での対応技術等について、宮城県内の生産者・生産法人、研究・普及関係者等にご講演をして頂く予定です。

施設園芸生産者、参入をお考えの方、会員、関係者の皆様、「施設園芸新技術セミナー・機器資材展in宮城」に、奮ってご参加、ご出展いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

- 日 時
平成30年9月19日(水)～20日(木)
- 会 場
大崎市民会館(宮城県大崎市古川北町5-5-1)
- 参加費
セミナー聴講:1,000円(2日間でも1,000円)
(テキストは2,500円/1冊)
機器資材展見学のみは入場無料



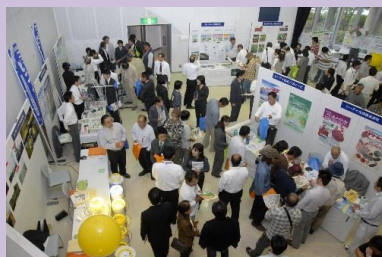
会 場 大崎市民会館(TEL:0229-22-2649)
奥の細道湯けむりライン JR古川駅より徒歩15分
駐車場150台有り

- 主 催: 一般社団法人 日本施設園芸協会
後 援: 東北農政局／宮城県／大崎市
協 賛: 宮城県農業協同組合中央会
全国農業協同組合連合会 宮城県本部
公益社団法人 宮城県青果物価格安定相互補償協会
一般社団法人 宮城県農業会議
宮城県認定農業者組織連絡協議会
宮城県農業法人協会
公益社団法人 みやぎ農業振興公社
宮城県農業共済組合
一般社団法人 宮城県植物防疫協会
宮城県花と緑普及促進協議会
宮城県園芸協会
東北大学未来科学技術共同研究センター
農研機構 野菜花き研究部門
全国農業協同組合連合会 生産資材部
全国野菜園芸技術研究会
(一社) 全国農業改良普及支援協会

(後援、協賛は申請中)

機 器 資 材 展

○出展の申込みは、園芸情報センター
TEL:03-3233-3634



- 9月19日(水)
11:30～17:30
- 9月20日(木)
8:30～13:00

●施設園芸資材、植物工場関連の機器資材などの展示を予定。

◆◆◆ オプション企画 ◆◆◆

東日本大震災を乗り越えた7年後の復興現場視察ツアーを開催致します。

●視察先:「農業法人 株式会社イグナルファーム」(宮城県東松島市)

①赤井ほ場(ミニトマト・きゅうり生産)、②大曲ほ場(イチゴ生産)

●開催日時:9月20日(木)(*セミナー終了後:12:45出発予定)

*借上げバスにて、「農業法人 株式会社イグナルファーム」を視察、

古川駅経由で「大崎市民会館」に戻る約4時間程度の視察ツアーです。

●参加費:3,000円/1名様 (※昼食は、ご自身で済ませてください)

●定員100名(定員になり次第、受付終了となります)

講 演

【第1日目】 9月19日(水) 12:30 開講 (11:30より開場)

12:30～13:00 主催者・来賓挨拶

《第1部 施設園芸における新技術と今後の展開方向 ～寒冷・冷涼地域で活用したい技術～》

時間割	講演テーマ	講演者
13:00～13:40	次世代施設園芸の取組状況と今後の展開について	農林水産省 園芸作物課 次世代施設園芸推進グループリーダー 川本 憲一 氏
13:40～14:20	北海道、東北地方の連棟ハウスに装備された融雪装置の具体例と融雪能力	山形県農林水産部 野菜花き振興専門員 古野 伸典 氏
14:20～14:50	資料プレゼンテーションおよび展示見学	
14:50～15:30	次世代施設園芸事業宮城県拠点におけるトマトとパプリカの大規模生産(仮)	デ・リーフデ北上 農場長 シャミム・アハメド 氏
15:30～16:10	夏秋イチゴ生産における品種特性と栽培管理技術(仮)	農研機構・東北農業研究センター 施設野菜・育種グループ長 山崎 浩道 氏
16:10～16:50	イチゴ生産における作業自動化・ロボット技術の動向	農研機構・農業技術革新工学研究センター 高度施設型作業ユニット長 太田 智彦 氏

【第2日目】 9月20日(木) 9:00 開講 (8:30より開場)

《第2部 東北地方(宮城県)の地域農業を支える施設園芸》

9:00～ 9:30	震災からのイチゴ生産の復興と発展に向けた取り組み	宮城県亘理農業改良普及センター 技術主幹 菅野 秀忠 氏
9:30～10:00	一莓一笑の目指す次世代環境制御	一莓一笑 代表取締役 佐藤 拓実 氏
10:00～10:30	石巻地域におけるイチゴの総合的病害虫管理(IPM)の取り組み	宮城県石巻農業改良普及センター 技師 志賀 紗智 氏
10:30～11:00	資料プレゼンテーションおよび展示見学	
11:00～11:30	10aトマト50t採りの実際	株式会社やまもとファームみらい野 園芸部長 関 英勝 氏
11:30～12:00	ハウス環境と生育調査データのウィークリーレポートの現場での活用と普及(仮)	宮城県農林水産部園芸振興室 先進的園芸推進班 技術補佐 相澤 正樹 氏

■参加申込みは下記へFAXでお願い致します。

参加申し込み
お問い合わせ先

FAX:03-3667-1632

TEL:03-3667-1631

URL: <http://www.jgha.com>

一般社団法人 日本施設園芸協会

担当者E-mail: hirashima@jgha.com

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階

担当者: 平島

参 加 申 込 書

※お申込みはFAXまたは郵送にてお願いします。【申込み締切 9月5日(水)】

参加者氏名	参加者区分	住所と勤務先(部署名)	上段:電話番号 下段:FAX番号	セミナー 聴講日	機器資材 展のみ 見学	テキスト 希望 (○印)	オプション ツアー希望 (○印)
(フリガナ)	1. 農家 2. 農業団体 3. 行政機関 4. 企業 5. その他	(〒 -)		19日	19日		
				20日	20日		
(フリガナ)	1. 農家 2. 農業団体 3. 行政機関 4. 企業 5. その他	(〒 -)		19日	19日		
					20日	20日	
(フリガナ)	1. 農家 2. 農業団体 3. 行政機関 4. 企業 5. その他	(〒 -)		19日	19日		
					20日	20日	

特記:オプション企画「東日本大震災を乗り越えた7年後の復興現場」視察ツアー(有料)の参加希望者は、必ず上記のオプションツアー希望の欄に○印をお付けください。定員100名になり次第締切ります。

借上げバス出発12:45⇒視察先ほ場2カ所(13:45～15:45)⇒古川駅・大崎市民会館着16:45頃着予定です。